



アーティスト・ワークショップ

「素材であそぶ vol.2 箔」

展覧会: 生誕135年 石井林響 千葉に出づる風雲児

素材であそぶシリーズの第二弾。日本画家の坪田純哉さんを講師としてお招きし、「箔」の基本的な特徴や扱い方などを体験しました。金・銀・銅の3種類の箔に加え、水干絵具での彩色にも挑戦。普段触れる機会の少ない日本画の画材に親しむ時間となりました。

概要 OUTLINE

日程 12月15日(土)

時間 13:30~16:30

会場 11階講堂

対象 中学生以上

参加者数 17人

講師 坪田純哉

スタッフ 美術館職員3人、ボランティア5人、

参加費 2000円

参加方法 事前申込制

ワークショップの流れ FLOW

- ① 講師から箔についての簡単なレクチャーを受ける。
- ② 箔の貼り方のデモンストレーションを見学後、箔を貼る練習をする。
- ③ 水干絵具の扱い方についてのデモンストレーションを見学後、水干絵具で彩色の練習をする。
- ④ 自由制作。好きな箔や水干絵具と色紙を使って作品を作る。
- ⑤ 全員で作品のお披露目会をし、感想などを伝えあう。

材料と道具 MATERIAL & TOOL

箔(金・銀・銅)、箔のり、膠、水干絵具、あかし紙、鳥の子紙、色紙、脱脂綿、タルク、箔箸、絵皿、ボール、彩色筆、下敷き、文鎮、新聞紙



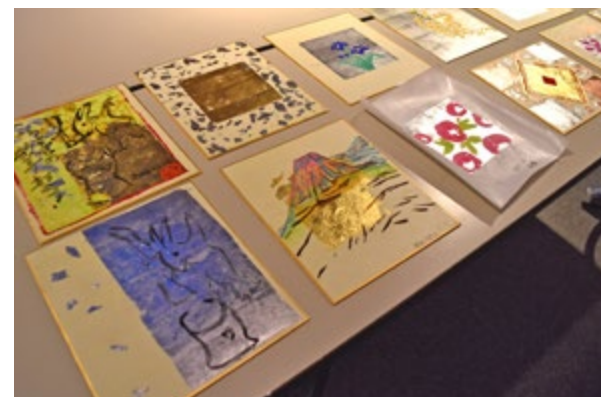
坪田さんによる箔のあかし方(貼り方)のデモンストレーション。繊細な作業です。



自分でも箔貼りに挑戦! その薄さゆえ、時には悲鳴があがることも...



練習の後には、オリジナルの作品づくり。箔の上の水干絵具が色鮮やかです。

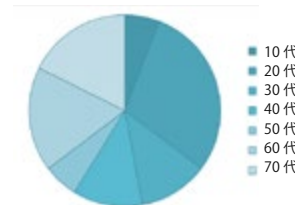


一時間ほどの限られた制作時間でしたが、最後は様々な表情の作品ができました。

参加者の声 VOICES

- ・体験に勝るものはないと実感しました。箔を使った作品を鑑賞する目が違ってくると思います。(70代)
- ・金、銀、銅の箔を用意していただき、とても豪華で画力のない私にも楽しく作成することができました。(20代)
- ・金箔は思った以上に制作が難しい事がわかりました。経験を重ねる必要を感じました。(70代)
- ・はじめてでしたが、良くわかりました。今後、使う機会を作りたいと思います。(60代)
- ・箔がこんなに大変であることや、金・銀・銅で異なることなどがわかった。(40代)
- ・めったにできない経験を丁寧な解説とともにさせていただきありがとうございました。プロの先生と直接お目にかかれたのもうれしいです!(20代)

参加者の割合(年代) AGE



内容的にやや高齢の方からの関心が集まりやすいかと予想されましたが、中学生や20代の若い世代を含む、幅広い年齢の方にご参加いただきました。

講師プロフィール ARTIST'S PROFILE

坪田 純哉

(日本画家)



1974年埼玉県生まれ東京育ち。東京藝術大学大学院美術研究科日本画修士課程修了後、渡欧。2004年より個展を中心に活動中。和紙・膠・墨・胡粉・金属箔・岩絵具など「日本画」の材料を使用し、現代の建築空間において新たな調和を生み出せるような作品を制作している。2001年青垣日本画展「佳作賞」受賞、2011年トリエンナーレ豊橋星野真吾賞展入選。

個展: ギャラリーアピアント(2010より隔年)、靖山画廊(2014)、Gallery Seek(2015)、新潟三越(2016)、あべのハルカス近鉄本店(2018)、その他多数。